

東京大 2013 年度第2問 国家と宗教①

紀元前1世紀に地中海世界を統一したローマは、その広大な帝国と統治するために、宗教をさまざまな形で支配政策に組み入れていった。パレスチナの地に生まれてローマ国内に信仰を広げたキリスト教は皇帝による宗教政策との関わりで、(a) はじめ激しく迫害されたが、やがて (b) 紀元後4世紀前半には国家に受け入れられるようになった。下線部 (a) (b) に対応する以下の問いに冒頭に (a) (b) を付して答えなさい。

(a) キリスト教徒がローマ皇帝に迫害された理由を2行(60字)以内で説明しなさい。

採点基準・加点ワード

- ① **一神教**を信奉した。
- ② ローマ帝国の**多神教**に基づく祭儀を認めなかった。
- ③ **皇帝崇拝を拒否**した。
- ④ **専制君主政と対立**した。
- ⑤ **世界宗教**としてローマ市民に広まった。

③・④のポイントは多くの方が書けていました。高得点になるポイントは①②⑤だと思います。

- ①…同じ一神教であるユダヤ教も迫害されますよね。
- ②…一神教は基本的に多神教的世界に寛容ではないのです。
- ⑤…市民の間に広まっていなければ、迫害の対象にはなりません。
影響力があるからこそ、迫害されたのです。

(b) キリスト教徒はローマ皇帝によってどのように公認されたか、その**皇帝の名前**と**公認の理由**に触れながら、2行(60字)以内で説明しなさい。

採点基準・加点ワード

- ① **コンスタンティヌス帝**
- ② ミラノ勅令でキリスト教を公認した。
- ③ **増加するキリスト教徒の支持を得ようとした**。
- ④ **帝国の統一を回復しようとした**。

①②は絶対に必要。公認の理由という面で、③④のどちらかを書けているかがもう一つの重要なポイントです。「やむを得ず」「妥協して」ではなく、しっかりと理由を書きだす必要があります。

*コンスタンティヌスの業績(5つ)

- ・ミラノ勅令
- ・コンスタンティノーブル遷都
- ・ニケーア公会議を主催
- ・**コロヌスの身分固定化(コロヌス土地緊縛令)**…奴隷による土地経営を維持しようとする。
- ・**ソリドゥス金貨**の創設…良質な金貨を流通させ、通貨価値を正常に戻す。

上の3つは必須。下の2つもけっこう重要です。コンスタンティヌスが即位したときには、ローマ帝国の経済力がボロボロであり、ローマ帝国の再建のためにコンスタンティヌスは新たな統一軸をキリスト教に求めたこととなります。